

随意契約結果書

| | |
|--|---------------------|
| 物品等の名称 及び数量 | |
| 契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 |
| | 九州地方整備局 鶴田ダム管理所長 |
| | 鹿児島県薩摩郡さつま町神子3988-2 |
| 契約締結日 | 令和 年 月 日 |
| 契約の相手方の 氏名及び住所 | |
| | — |
| 契約金額 (消費税及び地 方消費税含む) | ¥1 , 2 , 000- |
| 予定価格 (消費税及び地 方消費税含む) | ¥1 , , 000- |
| 随意契約による こととした理由 | 別紙のとおり |
| 備 考 | |

随意契約理由書

1. 件名 鶴田ダム放流警報制御装置改造
2. 契約の相手方 福岡県福岡市南区大橋一丁目2番19号
福岡芝浦電子（株）
電話 092-561-2717
3. 履行場所 九州地方整備局 鶴田ダム管理所
4. 随意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号
(公募からの特命随意契約)
5. 当該案件の目的・内容及び随意契約に付する理由

1) 当該案件の目的及び内容

本件は、ダム放流警報設備の制御監視局装置のOSの更新(アップデート)と機能改良を行うものである。

2) 随意契約に付する理由

本改造は、ダム放流警報設備の制御監視局装置のOSの更新(アップデート)と機能改良を行う改造であり、設備の「機能・性能」に影響が及ぶ改造である。

当該設備は、当局の業務目的を達成するために必要な「機能・性能」を定めた仕様書等に基づき、当該装置の製作者である福岡芝浦電子（株）が独自に管理保有している技術を基に、設計・開発・製作・納入したもので、その設計製作段階において同社が有する特許権、実用新案権及び企業秘密等の知的所有権が多数使用されており、本改造を行うにあたっては、同社のみが保持する技術が必要である。

以上のことから、本件の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施した。公募の結果、参加意思確認書の提出がなかったため、会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号の規定に基づき、福岡芝浦電子（株）と随意契約を行うものである。

(随意契約理由書作成者)

鶴田ダム管理所 専門職